

第三一〇回俳都松山俳句ポスト

第三一〇回開函

「櫟」副主宰 櫛部 天思 選

特選三句

ここよりは花人として島巡る

愛媛県松山市 門田 智子

古湯殿の修復を待つ青葉かな

東京都杉並区 美谷 邦章

子規さんと呼ぶ人とゐて南風

山口県山口市 齊藤 扶実

入選二十句

(市外)

のどかさや俳句ポストが市電にも

京都府伏見区 山口明紀

つかのまの足湯につかる帰省かな

東京都世田谷区 森光男

小満や雲湧きたちて予讚線

大阪府八尾市 本田輝子

松山の空より見ゆる初桜

埼玉県川口市 西村滉雄

鳥声のしきり椿の枝揺らす

神奈川県横浜市 島田ひろみ

空港で着替えここより徒遍路

神奈川県横浜市 島田継之助

登れや登れ薰風の松山城

岡山県久米郡美咲町 塩島光二

俳句ポストは湯釜の形風光る

福井県鯖江市 笹原 和代

六月の愛松亭の猫しづか

愛媛県新居浜市 木村 ツヤ子

蝶の影流れてゆきぬ石畳

滋賀県栗東市 小野 雅子

春宵のからくり時計せりあがる

埼玉県上尾市 池田 昂平

永き日や路地を出て行く縄電車

愛媛県新居浜市 青山 京子

(市内)

遍路道潮の白ひが笠に入り

愛媛県松山市 白石 俊二

弁当は山菜料理桜まじ

愛媛県松山市 本田 るい

宿下駄の赤き鼻緒や旅五月

愛媛県松山市 林 一孝

この坂を上れば村の梅まつり

愛媛県松山市 高須賀 君子

それぞれに足組む形花筵

愛媛県松山市 結野 栄子

寝ころんで見たき花房藤揺るる

愛媛県松山市 山下 幸子

(十五歳以下)

葉桜の坂を上れば子規と雲

沖縄県那覇市 中山 桃杜

声出しがでさる喜び夏の空

愛媛県松山市 忽那 風香

伊予灘ものがたり賞

女子旅の列車の窓よしやぼん玉

愛媛県西予市 脇本 美千代

| | |
|-------|--------|
| 投句総数 | 二、三二五句 |
| 市外 | 一、七二五句 |
| 市内 | 六〇〇句 |
| 投句者総数 | 一、五五五人 |
| 市外 | 一、一八七人 |
| 市内 | 三六八人 |

開函日

令和五年五月三十一日